

広布山本満寺は十念寺の南にあり、法華宗にして開基は日秀上人なり。祖師堂日蓮上人の像は、初丹波国黒田村にあり、所の人熱病を發して死するもの多し、これ則此像の崇なりとて、櫃に入れて山中に捨たり、夫より星霜累りて知るものなし。ある時山中に読経の声あり、村民これをあやしみ山に入て窺ふに、此尊像を得たり、則同所生福寺に安置す。其後宇津宮心覚といふものを奪ひ取て都に登り、市中に售ぬ。当時の日重上人これを見て、高祖の像なりとて速に買取つて当寺に安置せり。「祈願するに靈驗あらたなりとて、当宗の門徒常に参集す。一説には元三大師の像ともいふ、新著聞集に見えたり」